

卒業論文

タイトル

08-222021 長谷川 慧

指導教員 森畑明昌 准教授

2024 年 1 月

東京大学教養学部学際科学科総合情報学コース

概要

ここに概要を書く。

目次

第 1 章	はじめに	1
1.1	背景	1
1.2	研究の目的	1
1.3	本論文の構成	1
1.4	1
第 2 章	先行研究	2
2.1	Unno ら	2
2.2	Relasionak verifiatiion	2
第 3 章	方法	3
第 4 章	実験	4
4.1	結果	4
4.2	考察	4
第 5 章	おわりに	5
参考文献		6
付録 A		7

第 1 章

はじめに

1.1 背景

検証のこと関係的検証とは・普通の検証との共通点と相違点海野ら 必要最小限のことを書く

1.2 研究の目的

pcsat の調査不足 benchmark 少ないしかも primitive non-trivial な例はない (e.g. arrayInsert) pcsat の複雑性によってスケーラビリティに想像つかない

実際問題使えるの？

使えないならヒントが必要なのでは？・benchmark の追試 solver の update が原因なんじゃないか (想像) ・自作問題 (3 つ) ヒント・array read-only

1.3 本論文の構成

1.4

第 2 章

先行研究

2.1 Unno ら

2.2 Relasionak verifiatiion

第 3 章

方法

第 4 章

実験

4.1 結果

4.2 考察

第 5 章

おわりに

参考文献

[1]

付録 A